

北中で最も主体的な人物は

学びポケットに投稿されていた、三A給食委員T・Mさんのメッセージを読みましたか。校務員のSさんについて発信されていますね。そこに書かれていたSさんの仕事内容は、給食に関わるものだけです。給食以外の仕事も入れると、Sさんの仕事はびっくりするぐらいたくさんありますよ。彼女こそが、北中の中で最も主体性を発揮している人物だと私は思っています。

校長室の来客テーブルの上には、かわいらしいシクラメンの鉢植えが載っています。目立ちすぎず、殺風景になりすぎず、癒しを与えてくれるシクラメンの鉢植えです。小さな小さな赤色が、校長室を彩っています。



Sさんが連れてきたシクラメンです。私が依頼したわけではありません。花を飾ることが、校務員の仕事として決められているわけでもありません。彼女は、私や来客の心が少しでも和むように、自分の判断でシクラメンを連れてきました。生徒玄関を入った壁の一角にも、同じように生徒や職員を見守る花がありましたね。校舎の周りにあるプランターのパンジーも、全て彼女が植え替え並べてくれました。

学校の施設設備の管理は校長の役目です。私が時間をみつけて、草刈りや芝刈り、植栽の剪定を行くと、彼女はいつも外に出て手伝ってくれます。汗だくになる暑い日には、時間を見て水分や塩分タブレットを準備してくれます。「手伝って」「水分をください」と頼まなくても、彼女は自分の判断で準備してくれます。

こんなこともありました。寄付された桜の苗木を、私は寄付してくださいました方と一緒に、グラウンド北側の土手に数本植えました。私たちは植えただけですが、Sさんは苗木のその後を心配して、寒さ対策を施してくれました。根元に枯草を敷き、凍てつくことを防いでくれたのです。

暑くても寒くても、彼女は外に出て自分の判断でせっせと動いています。掃除がない今、汚れやほこりをみつけると、モップや掃除機をもって進んで掃除をしています。自分(だけ)の部屋でもないのに、職員室や校長室の加湿空気清浄機の水や、温風ヒーターの灯油をタイムリーに補給します。彼女の仕事はまだまだまだたくさんあります。

校務員としての詳細なマニュアルはありません。決まっているのは勤務時間だけです。それに従って仕事をすれば、一定の給料はもらえるわけです。しかし、Sさんの仕事は、彼女が気付いたこと全てです。それをやり切るために、時には暑い中外に出たり、勤務時間を超えても取り組んだり、はたまた、周りに気付かれなくても黙々と動いたりしています。まるで「母親」ですね。Sさんは北中の生徒と職員の「お母さん」といふべき立場の方です。そして、北中で最も主体的な人物です。

(二月三日記)